

市民活動センター「元気通信」

生き生きいるま 人・まち・自然

〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 4-2-2 TEL/04-2964-2511 FAX/04-2964-2519
Eメール/ shimin@ictv.ne.jp http://iruma-sk.c.seesaa.net/

市民活動センターの利用状況について

今年度上期のセンター利用者は約 8,000 人

市民活動センターにおける、平成 20 年度上期の利用者数は 7,994 名で昨年の同時期 7,286 名と比べて約 10% の増加となっています。一日あたり平均利用者数は約 44 名になっています。

また、月別利用者数は平成 19 年、20 年ともに同様な傾向を示していて、8 月が最も利用者数が少なくなっています。

次に登録団体ごとの利用状況は、6 ヶ月間で 50 回以上利用している団体は、全体の 4% にあたる 3 団体でしたが、うち 2 団体は市役所関係で、市民活動団体は 1 団体でした。

また、10 回以上の利用団体は約 20% の 14 団体で、10 回未満が最も多く約 45% の 32 団体でした。

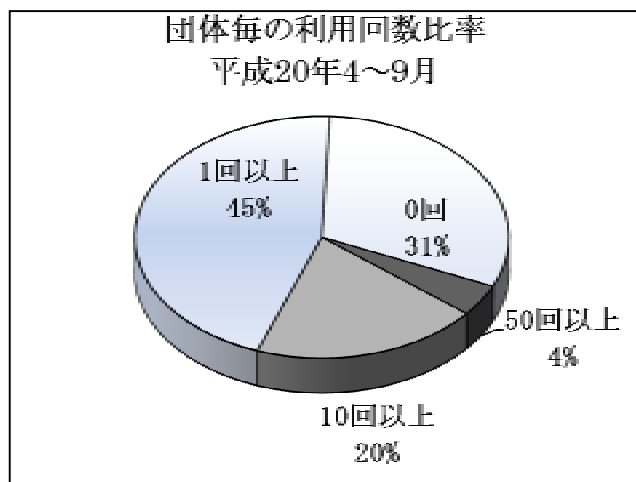
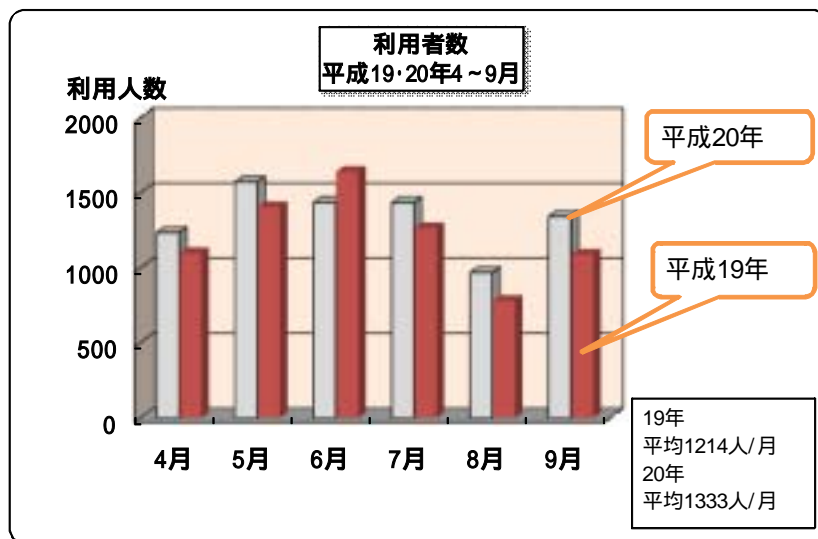
一方、この 6 ヶ月間で 1 回も利用していない団体が全体の 31% にあたる 22 団体となっていました。

市民活動センターをより使い易く

市民活動センターでは利用する活動団体がより使い易くするため、また、初めてセンターを訪れた市民にとって分かり易いセンターを目指して、整備していきたいと考えています。

これまでに、活動団体から要望のあった、
印刷やコピー代金の休日支払い可能化
全館チャイムの無鳴動化
インターネットが使える環境の準備
などの対応を行ってきました。

今後は、センター 1 階ロビーの配置替え、活動センター/男女共同参画推進センター/入間市社会福祉協議会などの明確化および活動団体の紹介ファイルの設置など、市民活動センターを訪問する市民にも対応した工夫を検討しているところです。



団体の底力アップ実践講座 を開催しました

第1回 事例満載 / コミュニケーション活性化の秘訣を学ぶ …… 9/6(土) 午後 2:30 ~ 5:00

講師の堀池さんは、「失敗の経験が皆さんの役に立つ」として、パワーポイントを使って、ご自分の経験をベースに 8 割は失敗、2 割が成功という市民活動の実際について、IT をテーマに話をしました。

SOHO 三鷹の立ち上げの経緯や、活動にかかわった様々な事例を通して、IT がどのように地域活動に役立つか、また活動の情報共有がいかに大事か、についての説明がありました。

それと「どこでも竹とんぼ教室」を、4 年から全国 50 都市で 330 回実施しており、「教え方」を教えるため、先生向け用テキストを作る「どこでも竹とんぼ教室」におけるグループ活動の事例などの紹介がありました。
(参加者 21 名、於市民活動センター)



講師：堀池喜一郎氏



大手の電機会社を退職後、IT を活用したコミュニティ・ビジネスに取り組む NPO 法人「シニア SOHO 普及サロン・三鷹」を創設。また「どこでも竹とんぼ教室を！リダ-会」を設立。その情報交換にブログやメールリングリスト等の IT を活用。

第2回 センターを使いこなして団体を活性化 / 市民活動に役立つセンターづくりワークショップ …… 9/27(土) 午前 10:00 ~ 12:30

今回のファシリテーターは、まちサポメンバーの藤木昭治が努めました。

まず、参加団体から市民活動センターの利用状況について、役員会や講演会に利用、NPO の運営や会計などについての相談、ブログ立ち上げの相談などに利用しているとの報告がありました。市民活動センターは、会議、集会、相談の場だけでなく、情報を収集発信する場、他団体・人との交流の場、講座などの学習の場としての機能も有しているので、こうした面からの一層の活用を働きかけたいとまちサポから提案を行ないました。

初めて参加された団体の紹介の後、意見交換が行われ、センターの場所がわかりにくいので国道 463 バイパスに看板を出したらどうか、センターのホールに専用の案内掲示板（立て看板）がほしい、活動室で使えるパソコンがほしい、などの意見が出ました。
(参加者 36 名、於市民活動センター)



第3回 キャッチコピーでココロをつかむ / 会報作りに役立つ広報講座

…………… 11/6(木) 午後 6:30 ~ 8:30

講師の東さんは、活動団体という伝え手と読み手である市民との間をつなぐのが編集という仕事と力説。ポイントはあくまで読み手の立場で、「だれに」「何を」「なぜ」伝えたいかを分かり易く編集をすることで、「広報は見る人、読む人のためにつくる」「ひとりよがり」や「知ったかぶり」をさけることが肝心。興味も関心も薄い相手に、「オッ」と振り返らせることが使命。「自分達のメッセージ」が明確で「魅力的」でなければ伝わらない…とそのコツを伝授。

後半では、自分達の団体を売り込むメッセージを一言で現す「キャッチコピー」と、団体の活動をわかりやすく伝える 100 文字の本文「ボディコピー」の作成実習を行いました。できたものを白板に貼り出して、参加者が投票。1 番人気は「あのころに帰ろう 音楽工房 AMIGO」、2 番人気は「男女を超えたオンリーワン 男女共同参画推進センター」、他は 1 ~ 2 票で票が分かれました。これらの良い点、悪い点の講評があり、参加者の皆さん、納得の講座でした。後は、実践あるのみです。
(参加者 25 名、於市民活動センター)



講師：東(ひがし)一邦氏



出版社勤務の後、編集プロダクションを設立。編集者として市民団体の発行するチラシ、パンフレット、冊子なども数多く手がけ、講座の講師もつとめている。さいたま市市民活動サポートセンターの指定管理者である NPO 法人さいたま NPO センター理事、副代表。

活動団体紹介

このコーナーでは、市内で活動する団体の皆さんに登場いただき、活動内容やイベント情報の提供をしています。

(社)日本助産師会埼玉県支部入間地区会議

代表：阿部 淳子 TEL 04-2964-8714
〒358-0013 入間市上藤沢 358-7

こんにちは。

私達の会は、病院、助産院、保健センター、学校など様々な場所で助産師として仕事をしている者達の、助産師職発展向上などのためにある職能団体です。

本部は、東京ですが、各県に支部があり、また支部の中に、地区があります。支部は現在約300名の会員があり、私達の地区は20名です。

個人的な仕事が多く、まだまだ知名度が低いのですが、入間市健康福祉センター祭りにはベビーマッサージなどで参加させていただいております。また、少しでも多くの仲間を増やしていきたいと、助産師向けの研修会も年に1回開催しています。

助産師の仕事は、妊産婦さんや赤ちゃんにかかわる(赤ちゃんの訪問や乳児健診、両親学級)だけではなく学校の性教育なども行っています。命に向き合い、命を育む、責務の重い仕事ですが、とても素敵な仕事です。

少しずつではありますが、イベント参加などに助産師として声をかけていただくようになりました。地域の中で、私達助産師ができることを、これからもっと発信していきたいと思えます。



各地域で開業している助産師の問い合わせ先

- 入間市・阿部淳子(自宅分娩・母乳相談等)
2964-8714 9:30~19:00
- 所沢市・高野母乳相談室(母乳相談等)
2939-9612 9:00~21:00
- ・もりあね助産院(分娩・母乳相談等)
2943-3139 9:30~18:00
 - ・大平母乳相談室(母乳相談等)
2998-5778 9:00~17:00
- 狭山市・原川 安喜子(母乳相談等)
2954-4154 9:00~17:00
- ・マタニティル-ム伊深(分娩・母乳相談等)
2957-7987 9:00~12:00

いるま介護保険わかろう会

代表 近藤 忠彦 TEL 04-2964-0552
〒358-0003 入間市豊岡 1-8-2-1001

2000年4月から始まった介護保険に合わせ、さいたま介護保険サポーター研修講座が開かれました。

介護保険サポーター研修とは、介護保険についてきちんと知り、自分にもまわりの人にも役立てる人になるための研修で、約1000人の参加があり、この講座により入間市では10人のサポーターが生まれました。

この人たちを中心に受講後すぐ、サポーターと言うより「もっと介護保険をわかろう」「市民の方と一緒に学ぼう」との思いから、「介護保険を理解し、私たち市民の利用しやすい介護保険を目指す」という目的をもって、当会を立ち上げました。

初期の活動には多くの人に介護保険を知ってもらうため、講師派遣・映画上映・巡回相談・ミニ研修講座・介護保険利用実態調査(県の委託)等を行いました。

また、入間市高齢者福祉課と協働で、利用者側の視点で「いるま介護保険サービスマップ」を作成しました。このマップがベースとなって作成されている現在のマップは、入間市の高齢者福祉とサービスを知る身近な資料として利用されています。

近年では、より良い介護保険を目指して利用者、事業者、行政三者に呼びかけて、セミナーや勉強会を開いています。

2006年4月から介護保険が改正され、「新しい介護保険制度を知り、暮らしに生かしていく」ための「改正介護保険市民セミナー」を3回に亘り開催しました。その内容は、基本的な介護保険導入の背景、仕組、改正後のポイント、包括支援センターと介護予防、入間市の実態等でした。

続いて2007年度は、勉強会「改正介護保険のその後」を開きました。電話相談で全国にみる現状と課題、そして入間市独自の改正介護保険とは、最後に介護保険、福祉系団体の日頃の活躍から見える現状報告と参加者の意見交換でした。

毎回、市民、事業者、行政の方々等参加される方が多い事は嬉しいのですが、ゆっくりとした話が出来ない事、また利用者や家族と繋がる難しさが課題となっています。

今年度は、新たな方向へいろいろ模索の年です。



センターからのお知らせ

12/13、20 第4、5回研修講座

あなたのスキルアップで参加者倍増 / 行列ができる講座と
思わず手に取るチラシの作り方

イベント参加者はチラシで勝負が決まる！
イベント参加者をもっと集めたいあなたにオススメ！！
行列ができる、あのチラシ作りのノウハウを、
全国を飛び回る超人気の講師、牟田静香があなたへ伝授。



< 第1部 講義 > (第4回研修講座)
日 時：平成20年12月13日(土)
午後 1:30 ~ 午後 4:30
会 場：市民活動センター活動室1(3階)
対 象：市内の活動団体
定 員：50人
参加費：200円

< 第2部 実習 > (第5回研修講座)
日 時：平成20年12月20日(土)
午前 10:00 ~ 午後 4:30
会 場：駿大ふれあいハウス(アイポット2階)
対 象：第1部を受講し、ワードを使える方
定 員：10人(多数抽選)
参加費：200円

申 込：12月10日(水)までに、市民活動センターへ電話かFaxまたはE-mailで。

第6回研修講座(予定)

日 時：平成21年2月28日(土) 午後 2:30 ~ 午後 5:00
内 容：交流・連携力アップの方法
講 師：庄嶋孝広氏(市民社会パートナーズ代表)

< 福祉系登録団体交流会が開催されました >

この交流会は、地域福祉の充実や団体間の横のネットワークづくり及びそれぞれの団体の行事広報を目的として開催されているものであり、交流会の内容等についてもすべて自分たちで企画立案して行なわれています。今回は、団体の紹介と活動における課題などについて話し合われました。他団体との交流による効果も大きいことから、今後も年3回くらいを目途に開催することと、福祉系以外の団体へも参加を呼びかけることを、確認しあいました。(10月8日、参加者14名、於市民活動センター)

各団体においても、このような交流会を行い、仲間の輪が大きくなっていくことを望んでいます。交流会開催の“きっかけ”はまちサポが支援いたしますので、窓口にてお声を掛けてください。

.....《センター内でパソコン、インターネットが利用できます》.....

インターネット接続可能なノート型パソコンの貸し出しを開始します。また、1階ロビーの受付前にノート型パソコンを設置します。資料編集やインターネット検索などにご活用下さい。
(利用方法や開始時期については、まちサポにおたずねください)



<http://www.machisapo.com/>

編集・発行 / まちづくりサポートネット元気な人間(市民活動センター内)